

科目名	ピアノ I	科目ナンバリング	KC1M1C01		
担当者	木村 博子他				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	0				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※	必修		選択必修	DE
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	こどもの自発的な音楽性を育てるピアノ演奏を身につける。童謡や自由な創作を通してこどもの心と感性を豊かにするためのピアノ実技の基本を学ぶ。演奏姿勢、タッチ、運指の決め方の基本と学修の方法を知る。コードについて理解し、即興で伴奏がつけられるようにする。			
授業の概要	保育園・幼稚園現場で実践できるピアノ実技を、各人の習熟度に合わせて導入・基礎から学ぶ。個人レッスンでテクニックの基本を身につけると共に、童謡の歌詞や情感を理解し表現するワークショップを取り入れる。またコード奏の基本を学び、こどもと即興で音楽に関わる基礎力をつける。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	全体会:オリエンテーションとピアノ基礎奏法	教科書に目を通す	授業の復習
	2	演奏姿勢と指の形	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	3	打鍵と手首の使い方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	4	楽譜の読み方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	5	運指の基本	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	6	全体会:童謡ワークショップ	童謡について調べる	授業の復習
	7	歌詞とフレーズ	課題曲の練習	授業の復習
	8	リズムの基礎	音楽基礎演習の復習と課題曲の練習	授業の復習

	9	強弱法とテンポ	音楽基礎演習の復習と課題曲の練習	授業の復習
	10	全体会:コード奏ワークショップ(1)	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	11	三和音の弾き方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	12	転回形の作り方	音楽基礎演習の復習と課題曲の練習	授業の復習
	13	七の和音の弾き方	音楽基礎演習の復習と課題曲の練習	授業の復習
	14	メロディーと伴奏	課題曲の練習	授業の復習
	15	全体会:まとめとコード奏ワークショップ(2)	全体的な復習と課題曲の練習	試験曲の練習

使用教科書	改訂 ポケットいっぱいのおた(教育芸術社),
	こどものうた200(チャイルド社),
	続・こどものうた200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),
	音楽リズム・幼児の歌(東京書籍)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	学期末試験	80%	テンポ、フレーズ感、表現力
	平常点	20%	毎回の練習状況、レッスンに取り組む姿勢

科目名	ピアノⅡ	科目ナンバリング	KC1M1C02		
担当者	木村 博子他				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※	必修		選択必修	DE
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	童謡と、保育現場でこどもに寄り添う音楽を探求する。読譜力と即興力を上げ、こどもの音楽的発達に応じた適切な音楽を提供ができるようにする。コード奏の応用力をつけ、こどもとの即興的な音楽作りができるようにする。			
授業の概要	ピアノⅠで学んだ基礎を向上させ、きれいな音で情感豊かなピアノが弾けるようになることを目指す。童謡の中でも、生活のうた、季節のうた、遊びうたなど園生活や子供の日常に結びついた様々な歌を学んで、生活と音楽が結びつくようにする。コード数を増やすとともに、コード展開技法も学び、より自由な音楽表現ができるようにする。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	全体会：ピアノⅠの復習	ピアノⅠの復習	授業内容の復習
	2	コード奏の展開～分散和音の種類と弾き方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	3	コード奏の展開～変化和音の練習	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	4	コード奏の展開～メロディーの装飾とリズム奏	課題曲の練習	授業内容の復習
	5	全体会：コード奏のワークショップ(1)	コード奏の復習	授業内容の復習
	6	「生活のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	7	「季節のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	8	「遊びうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習

	9	歌詞表現とリズム、テンポ	課題曲の練習	授業内容の復習
	10	全体会:コード奏のワークショップ(2)	コード奏(1)の復習	授業内容の復習
	11	童謡のフレージング	課題曲の練習	授業内容の復習
	12	即興伴奏の基礎	課題曲の練習	授業内容の復習
	13	即興伴奏の展開	課題曲の練習	授業内容の復習
	14	弾き歌いの基礎	課題曲の練習	授業内容の復習
	15	まとめと復習	これまでの内容を復習	試験曲の練習

使用教科書	改訂 ポケットいっぱいのおうた(教育芸術社),
	こどものうた200(チャイルド社),
	続・こどものうた200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),
	音楽リズム・幼児の歌(東京書籍)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	学期末試験	80%	テンポ、フレーズ感、表現力
	平常点	20%	毎回の練習状況、レッスンに取り組む姿勢

科目名	声楽 I	科目ナンバリング	KC1M1C09		
担当者	村橋 和子				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修	選択必修	必修		AD
備考					

授業のテーマ及び到達目標	50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。			
授業の概要	歌う事の基本である呼吸法、発声法を学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、手遊びを含む様々なこどもの歌にふれながら、歌詞も理解し、曲に合った表現や工夫も身につける。また集団を動かす声作り、声に使い方についても学ぶ。また音楽に合わせて身体を動かし、リズム感を養う。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンを行う。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 声楽の発声について理解する。授業の進め方を把握する。	シラバスを熟読する	こどもの歌について調べる
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(生活の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(入園、卒園、誕生会、七夕、夏休み)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、お正月、節分、ひな祭り)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(春、花)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ともだち、先生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(雨、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(夏、海)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する

	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、水遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(秋、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(冬、雪)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、一年生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(乗り物、遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する

使用教科書	改訂ポケットいっぱいのうた実践子どもの歌(教育芸術社),
	コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業への集中、課題への取り組み
期末テスト	80%	歌唱による試験	

科目名	声楽Ⅱ	科目ナンバリング	KC1M1C10		
担当者	村橋 和子				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修	選択必修	必修		AD
備考					

授業のテーマ及び到達目標	50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。			
授業の概要	声楽Ⅰに引き続き呼吸法、発声法を学び、さらに集団を動かす声作り、声の使い方についても学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、様々なこどもの歌を歌唱し、保育現場でその提供の仕方(姿勢、表情、声のかけ方)などについても学ぶ。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンをを行う。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 発声、コンコーネ50番、こどもの歌 (前期既習曲)	シラバスを熟読する	前期既習曲を復習する
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、乗り物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(動物、おばけ)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(わらべうた)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(レクリエーション)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(からだ、野菜)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(アニメソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(テレビ番組の曲)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する

	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(CMソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(NHK”おかあさんといっしょ”の曲から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ディズニー映画から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(英語の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(これまで学修した曲の復習)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する

使用教科書	改訂ポケットいっぱいのおた実践子どもの歌(教育芸術社),
	コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業への集中、課題への取り組み
	期末テスト	80%	歌唱による試験

科目名	幼児の音楽あそび	科目ナンバリング	KC1M1E21		
担当者	神野 和美				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※		必修		ABCDEF
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	0歳から6歳までの発達に沿って必要な歌やしぐさを修得する。幼児の集団遊びの種類や性質を整理し、いろいろな場面であそびこなせる力をつける。子どもの身近な遊具や道具を使っても遊べるよう経験を積む			
授業の概要	教育者として乳幼児に関わるときに最も大事な役割は、人間育成の手助けである。身体的言語的発達がまだ未熟な子どもに対し芸術、特に音楽を通しての教育は大変重要でかつ一番子どもにとって身近な媒体である。そのはじめの一歩として、自分自身の声と身体(身近な道具も)を使って乳幼児に寄り添えるわらべうたをしっかりと身につける			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 幼児の音楽あそびの授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認
	2	乳児の遊び歌①	課題の予習63p～90p	曲分析シート作成1
	3	幼児(しぐさ遊び)	課題の予習197p～	曲分析シート作成2
	4	乳児の遊ばせ遊び(足・ひざ)	課題の予習115p～119p	曲分析シート作成3
	5	幼児(鬼決め・数え歌)	課題の予習197p～	曲分析シート作成4
	6	乳児の遊ばせ遊び(手を使った遊び)	課題の予習103p～114p	曲分析シート作成5
	7	幼児(役交代の遊び)	課題の予習197p～	曲分析シート作成6
	8	乳児の遊ばせ遊び(顔・頭・指)と、こもりうた	課題の予習91p～103p	曲分析シート作成7

	9	幼児(減り増える遊び)	課題の予習197p ～	曲分析シート作成 8
	10	乳児の遊び歌②と乳児の復習	課題の予習60p～ 90p	曲分析シート作成 9
	11	幼児(隊伍の遊び)	課題の予習197p ～	曲分析シート作成 10
	12	幼児(道具を使う遊び)	動きやすい服装	曲の復習
	13	幼児の実践のための復習	偶数番号シート	授業の復習
	14	わらべうた総復習	全てのシート	授業の復習
	15	まとめ	実技試験のため の準備	曲分析シートのま とめ、試験の準備

使用教科書	わらべうた わたしたちの音楽～保育園・幼稚園の実践～(明治図書)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	50%	実技試験
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業の参加態度、予習復習の準備
	レポート(シート)	30%	課題の取り組み、毎回の積み重ね

科目名	幼児の音楽指導法	科目ナンバリング	KC1M1E22		
担当者	神野 和美				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択				ABCDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	乳児では、子どもの発達の順次性を理解した上で最適な遊び歌を選べる力をつけ、いろいろな場面での応用力が身に付くようになる。幼児では複数の遊びや歌を一つの実践として組み立てる(計画を立てる)ことができるようになる			
授業の概要	「乳幼児の音楽あそび」で習得するたくさんの歌を、具体的にどのような場面で活かせるのかという場面をイメージしたり、またどのように組み立てて表現していくことで子どもとの芸術を通じた教育が活かされるのかを学んでいく			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 幼児の音楽指導法の授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認
	2	なぜわらべうたか	課題の予習19p～	プリントの復習
	3	わらべうたの力	課題の予習23p～	まとめ復習
	4	子どもの身体発達	特になし	シートの記入
	5	音楽課業の組み立て①	課業の予習121p～	まとめ復習
	6	乳児の生活	課題の予習50p～61p	授業の復習
	7	音楽課業の組み立て②	課題の予習133p～	復習
	8	乳児の計画①	4回目、6回目の復習	授業の復習

	9	音楽授業の実践例演習	5回目、7回目の復習	復習
	10	乳児の計画②	課題の予習	計画表完成
	11	幼児のレポーター表作り	特になし	表の完成
	12	幼児の授業の実践案作り①	復習	シートの記入
	13	幼児の授業の実践案作り②	復習	授業実践案の作成
	14	実践練習	実践案確認	実践練習の振り返り
	15	これまでの総まとめ	実技試験のための準備	これまでの復習と試験の準備

使用教科書	わらべうた わたしたちの音楽～保育園・幼稚園の実践～(明治図書)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	50%	筆記試験
	平常点(態度・行動観察)	30%	授業の参加態度、予習復習の準備
	レポート(シート)	20%	課題の取り組み

科目名	音楽基礎演習	科目ナンバリング	KC1M1T23		
担当者	木村 博子				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	1年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修				CDE
備考					

授業のテーマ及び到達目標	楽譜の読み書きに慣れ、与えられた楽譜や童謡曲において、リズムや音が正しく理解でき、豊かに表現できるようになる。			
授業の概要	保育や幼児教育に役立つ音楽の基礎を理論とソルフェージュの両側から学ぶ。「歌う」「リズム打ち」「音符を読む・書く」「音を聴き分ける」などの演習を通して基礎的な技術を身につける。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 音楽の基礎(理論とソルフェージュ)	シラバスを読む	確認テストの復習
	2	音名、音符と休符、五線譜	テキストP8～P22 を読んでくる	楽譜を読む・歌う・ 弾く・書く
	3	ソルフェージュ・単純拍子	2・3・4拍子の童 謡曲を調べる	単純拍子の旋律 を弾く・歌う・書く
	4	ソルフェージュ・単純拍子	6・9・12拍子の童 謡曲を調べる	複合拍子の旋律 を弾く・歌う・書く
	5	音程 音程の読み方と内容について音程	テキストP86～P90 を読んでくる	音程・度数につい て理解を深める
	6	音程 長・短系の音程について	2・3・6・7度音程 を読む・弾く・歌う	長・短系の音程に ついて理解を深 める
	7	音程 完全系の音程について	1・4・5・8度音程 について	完全系の音程に ついて理解を深 める
	8	音楽用語・記号について (速度・強弱・曲想)記号	テキストP135～ P142を読んでくる	楽譜の中に書か れた音楽用語の 理解を深める

	9	音階と調 (長音階)ハ長調・ト長調・ニ長調	テキストP62～P67 を読んでくる	(ハ・ト・ニ)長調の 音階を弾く・歌う・ 書く
	10	音階と調 (長音階)ヘ長調・変ロ長調	前回の復習とテキ ストP69～P79を読 んでくる	(ヘ・変ロ)長調の 音階を弾く・歌う・ 書く
	11	音階と調 (短音階)イ短調・ホ短調・ニ短調・ト短調	テキストP95～ P100を読んでくる	(イ・ニ・ト・ホ)短 調の音階を弾く・ 歌う・書く
	12	旋律的短音階と和声的短音階・関係調	テキストP101～ P108を読んでくる	関係調の理解と 童謡曲の移調・移 調奏
	13	和音 主要三和音と属七の和音	テキストP112～ P117を読んでくる	主要三和音と属 七の和音の基本 形を弾く・歌う・書 く
	14	和音とコードネーム	テキストP118～ P126を読んでくる	童謡曲をコードで 伴奏
	15	まとめ	これまでの授業内 容を復習	試験の振り返り

使用教科書	楽譜が読める・弾けるステップ20(音楽之友社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	60%	筆記、実技試験への取り組み
	課題	20%	課題への取り組み
	平常点	20%	授業への積極的な取り組み